

- 野際遺跡発掘調査が完了しました！ . . . P1~2
- 令和3年度 特別史跡遠江国分寺跡
整備事業について P3
- 企画展・講演会情報 P4
- コラム『社山城の登り口をさがす』竹内直文 P4

のぎわ
野際遺跡発掘調査が完了しました！
—古墳時代前期の古墳を発見！—

令和2年度に引き続き、昨年の10月から今年の3月にかけて、市内東貝塚で、東部幼稚園園舎建て替えに伴う野際遺跡の発掘調査をおこないました。今回は令和3年度の発掘調査成果をご紹介します。



野際遺跡とは

野際遺跡は磐田原の南端に位置し、これまでに弥生時代から中世を中心とした遺構や遺物が見つかっています。令和2年度調査では、井戸跡や土地を区画する溝などが見つかりました。くわしくは、文化財だより第195号で紹介しています。



文化財だより 第195号

新たに古墳発見、周溝から様々な土器が出土！！

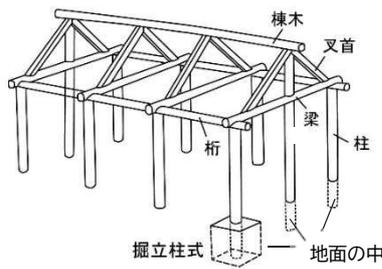
調査区の南側から、幅約1m、深さ約60cmの古墳の周溝が見つかりました。墳丘は残っていませんでしたが、周溝の形から、直径約12mの円墳であることが分かりました。溝の中からは、壺や甕以外に、お供えの器として使われる高坏たかつきという土器などが出土しました。土器の特徴から、古墳時代前期(1600年前)に造られた古墳のようです。この時期の古墳が新たに見つかることは珍しい例です。



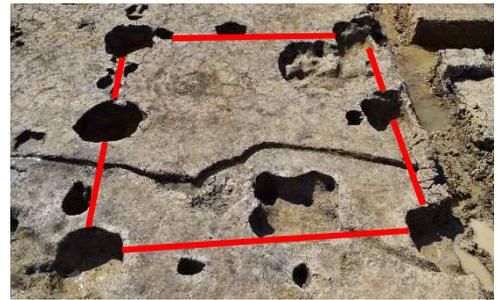
周溝から出土した高坏

遺構の中から木製品！！

遺跡からは、古墳以外にも古墳時代の建物の柱穴、土坑（当時の人が掘った穴）などの遺構が見つかりました。これらの中から、建築材や道具といった木製品などが見つかりました。低湿地であったため、泥の中でも腐らず残っていたものです。



掘立柱建物復元イラスト



建物跡（赤囲線が掘立柱建物跡）

① 建物の柱穴から礎板や柱が出土！

調査区からおよそ 230 基の建物の柱穴が見つかりました。これらは地面を掘って直接柱を建てる掘立柱建物の基礎部分にあたります。その中のいくつかから、礎板（柱と地面の間に置く板）や柱が見つかりました。調査地は湧水が多い場所のため、礎板を下に敷き、接地面積を増やすことで、柱が沈み込まないようにする工夫と考えられます。



柱穴から柱が出土した様子



柱穴から出土した田舟（※）を転用した礎板（※）農作業で水に浮かべ、稲などを運ぶ水槽形の容器

② 土坑の中から木製の鋤が出土！

直径 1.4m、深さ 40 cm の土坑から古墳時代前期（約 1600 年前）の木製の鋤が出土しました。把手も鋤先も半分失われていましたが、およその元の形が分かる状態でした。折れて使えなくなり、土坑に捨てたと考えられます。他の土坑からも木製の鋤が見つっています。

市内の鋤の発見例は、御殿・二之宮遺跡（磐田駅南側周辺）と今回の野際遺跡のみしかない、珍しい発見です。

田舟や鋤といった道具などが見つかり、古墳時代に水田を営みながら暮らすムラの様子が浮かび上がってきました。今後は、報告書刊行にむけた整理作業をおこなっていきます。



鋤が出土した様子



取り上げた木製の鋤（長さ約 70 cm）

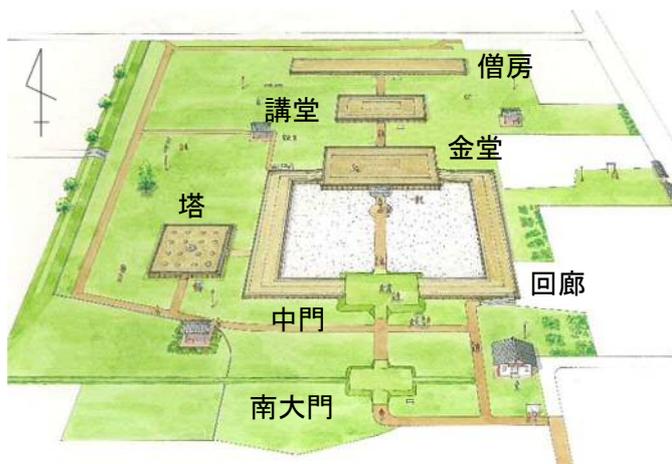
令和3年度 特別史跡遠江国分寺跡整備事業について

磐田市では、平成17年度より遠江国分寺跡の再整備事業をおこなっています。10年以上に及ぶ発掘調査の成果に基づき、文化庁や静岡県のご指導のもと、整備委員会で検討を重ねてきました。そして、令和3年度にはついに、遠江国分寺跡で整備工事が始まりました。令和8年度の完成を目指し、磐田の歴史を体感できる学びの場となるよう整備を進めていきます。

今回は、史跡公園北側を中心とした昨年度の整備工事についてご紹介します。

樹木整理

遠江国分寺跡にあった樹木を伐採したことにより、史跡公園の見通しが良くなり、寺院の広がりを感じることができるようになりました。また、樹木整理は地下に残る遺跡を、根による浸食から守るためにも重要な措置になります。



樹木整理前



樹木整理後

令和3年度整備工事対象地

整備工事

史跡公園の北側で、造成の他、一部の園路整備、芝張などをおこないました。ここは、奈良時代には講堂(※1)や僧房(※2)があった場所です。令和4年度には、ここに講堂と僧房の基壇を復元していきます。

遠江国分寺跡の整備に関する情報は、市ホームページや文化財だよりで今後もみなさまに発信していきますので、是非ご覧ください。

市HP該当ページはこちらから→



令和3年度整備工事後 (史跡公園北側)

(※1) 僧侶が經典の講義や説教をする堂 (※2) 僧侶の居住空間

企画展・講演会情報

企画展

保存修理完了記念 明ヶ島土製品だヨ!!全員集合 ～重要文化財 1064 点のすべて～

とき:令和 4 年 7 月 30 日 (土) ～ 8 月 28 日 (日) 9:00～17:00
(月曜、8 月 26 日 (金) は休館)

ところ:磐田市立中央図書館 1 階展示室 (磐田市見付 3599-5)

内容:重要文化財静岡県明ヶ島古墳群出土土製品の保存修理完了を記念して、全 1064 点を展示します。古墳時代の人々が作った人、動物、武器、楽器などを模した手のひらサイズの土の造形をお楽しみください。



人の形をした土製品

講演会 『祝！修理完了 重要文化財明ヶ島古墳群の土製品と磐田の古墳時代』

とき:令和 4 年 8 月 20 日 (土) 14:00～16:00

ところ:磐田市立中央図書館 2 階視聴覚ホール (磐田市見付 3599-5)

内容:土製品の保存修理を指導した文化庁の調査官が、土製品と磐田の古墳時代について分かりやすくお話しします。

講師:横須賀倫達氏 (文化庁文化財第一課 文化財調査官)

定員:100 人 (応募多数の場合は抽選)

参加無料

申込み:7 月 19 日 (火) ～ 8 月 5 日 (金) まで 電子申請または電話で文化財課へ

問合せ 磐田市教育委員会 文化財課 TEL:0538-32-9699 (平日 8 時 30 分～17 時)



電子申請
二次元バーコード

職員リレー コラム

やしろやま

社山城の登り口をさがす

竹内 直文

草が少ない 2 月の休日を利用して市指定史跡の社山城に登りました。社山城は戦国時代の石垣を持たない「山城」と呼ばれる城で、徳川・武田の抗争の舞台になった城です。

山頂には「曲輪」と呼ばれる館のあった平場があり、そこから麓にかけて細長い通路がさまざまな方向に 5, 6 か所伸びています。

この通路が城への登り口であると思われます。麓に近いところはなだらかな坂道ですが、曲輪に近づくにつれて起伏が大きくなり、崖と半円形の平場が交互に造られています。敵が登るのを難しくして戦いの際に少しでも有利になるよう、工夫されているようです。

静かな山頂で飲む温かいお茶の味は格別でした。



半円形の平場

編集後記
今月末から、企画展が始ります！今年は、明ヶ島古墳群出土土製品がテーマです。来月号の文化財だよりでみどころを特集しますので、お楽しみに。講演会もぜひ！

発行: 磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所: 〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話: 0538-32-9699

◆WEB 版は市 HP から閲覧できます。 [磐田 文化財だより](#) [検索](#)